

夏の風物詩「三春盆踊り」盛大に開催

夏の風物詩「三春盆踊り」が、8月15・16日の2日間、大町おまつり道路で開催されました。

午後6時からの子ども太鼓にはじまり、各地区の太鼓保存会の皆さんによる盆太鼓に合わせて、踊り手の皆さんが盆歌を歌いながら踊り歩き、踊りの輪が二重・三重にと大きく広がりました。今年は、町のマスコットキャラクター「こまりん」が、初めて浴衣を着て盆踊りに登場し、人気を集めていました。

また、「思い出アルバム」と銘打った記念撮影には、盆踊りに参加した記念を写真に残そうと、にぎわいをみせました。三春交流館「まほら」での太鼓体験コーナーでは、子どもたちが元気に太鼓をたく音が響きました。盆踊り講習会では、三春盆踊り愛好会の皆さんにご協力いただき、美しく踊るための講習会が行われました。さらに、三春のおよばれ研究会による絵灯籠まつりと百杯宴は、天候の影響で15日のみ行われ、警州通りは、絵灯籠でゆらめくろうそくの明かりに照らされ、祭の雰囲気盛り上げていました。

また今年も、16日に宮城県仙台市の皆さんによる「すずめ踊り」特別公演が披露されました。あいにくの天気のため、まほらホールの中の公演となりましたが、扇子を片手にリズムに合わせて踊る様子に、観客から大きな拍手がおくられていました。



勇ましく鳴り響く檣太鼓



檣で太鼓をたたく子どもたち



2日とも大勢の人が踊りました



子どもたちも楽しく踊りました



幻想的な絵灯籠と百杯宴



踊りの輪が広がりました



特別公演「仙台すずめ踊り」



人KEN まもる君と記念写真



こまりんも駆けつけました。